

出雲の古時計

川上弘美

一畑電車に乗って出雲まで旅したのは、たしか十年以上前の冬のことでした。新聞のエッセイに、その時のことを書いたおぼえがあります。

寒い旅でした。出雲神社にお参りをして、そののち町の中を歩きまわっていると、時計屋さんがあったのです。のぞいてみると、ウインドーには、婦人もののアンティークの時計が。

古いけどごく普通の時計ですよ、昔の売れ残りですね、と店主は言い、安く売ってくれました。金色の、昭和っぽいデザインのもんです。以来、ずっと愛用しています。出かける時は、たがいその出雲の昭和時計。ねじ巻き式なので、電池が切れるということが

ありません。居職で、めったに時計をはめない私には、かえって便利なのです。

この前の寒い日に、外出する用事があり、れいによって出雲の時計をしました。初対面の編集者と、打ち合わせをするのになってしまいました。少し遅刻気味に待ち合わせの喫茶店に着き、遅くなったことを謝りながら椅子に座ると、編集者が、じっと私の腕を見ているではありませんか。

なんだろう、といぶかしく思いつつも、打ち合わせは無事終わりました。ほっと一息ついてコーヒーを飲んでみると、編集者が聞いたのです。その時計、どこで手に入れたのですか、と。

聞けば、まったく同じ時計を、亡くなったお母様がずっとしていらしたそうなのです。編集者は、出雲生まれ出雲育ちとのこと。もしかして、同じお店で買ったんでしょうかね。編集者は言い、はずして渡した金色の時計をてのひらにのせ、じっと見入りました。そうそう、こういうふうには、ねじを巻く時計なんです。彼女はなつかしそうに、ねじに触れました。

時計を買ったのは、今日と同じように寒い日だったんですよ。私が言うのと、編集者は、柔らかくほほえみました。出雲の冬は寒いんですよ、冬の始まりには雷が鳴って風が吹いて、一畑電車はその中をゆっくり進んで行く

みんな てつ

CONTENTS
Vol.
52
2015

◎日本民営鉄道協会とは？
昭和42年に社団法人として設立、平成24年4月1日付で一般社団法人に移行、72社の民営鉄道会社で組織されています。
輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。
なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

んです。
彼女はそれから、大切そうにもう一度、時計をそっとさわわり、ありがたございました、と言つて、返してくれました。いえいえどうも、と私も言い、時計を腕にはめなおしました。
外に出ると、やっぱり寒くて、編集者はもう一度ちらつと私の時計を見た後は、すぐに手をふり、駅に向かいました。亡くなったお母様の時計は、形見分けて、彼女のお姉さんがもらつたそうです。

かわかみひろみ

作家。東京都生まれ。お茶の水女子大学理学部生物学科卒。
1994年「神様」で第1回バスカル短編文学新人賞を受賞。96年「蛇を踏む」で芥川賞、2001年「センセイの鞆」で谷崎潤一郎賞、07年「真鶴」で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。著書に「神様」「古道具中野商店」「風花」「どこから行っても遠い町」「七夜物語」「猫を拾いに」など。最新刊に「水声」がある。

02 四つの季節の鉄道エッセイ 冬 出雲の古時計

◎作家 川上弘美

特集／相互扶助の歩みと未来

「東北鉄道協会の技術力共有化事業」

TOP INTERVIEW

04 相互扶助の精神で 東北ローカル鉄道を守る。

◎東北鉄道協会 会長

（津軽鉄道株式会社 代表取締役社長） 澤田長二郎

INTERVIEW

08 つなかりを力に ともに問題解決に取り組む。

◎八戸臨海鉄道株式会社

鉄道事業部 技術担当部長 佐藤啓一

REPORT

10 東北鉄道協会 技術力共有化事業の 歩みといま

INTERVIEW
19社の連携の中で鉄道技術を磨く
◎IGRいわて銀河鉄道株式会社
代表取締役社長 菊池正佳

20 ともに地方鉄道の 活性化を目指す。

◎国土交通省 東北運輸局 鉄道部長 伊藤範夫

TOPICS

22 地方鉄道の車両保守における 技術継承の取り組み

研修テキスト作成と研修会の実施

◎一般社団法人日本鉄道車両機械技術協会

車両部長 桐井登美夫

みんなでつだより

日本民営鉄道協会

26 第21回鉄道フェスティバルに「みんなてつ館」を出展

上信電鉄上信線

新駅「佐野のわたし駅」が開業

高松琴平電気鉄道

ことடன்に「ポコでん」が運行

連載⑩ 地方民鉄紀行

28 福島交通株式会社

連載⑩ 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界

箱根名所図絵

30 箱根名所図絵

◎首都大学東京非常勤講師 藤本一美